



お知らせ



【重要】面会謝絶措置のお知らせ

昨今の新型コロナウイルスによる感染拡大に伴い、当院に於いても、患者さまが安心して入院加療頂くため、**面会謝絶（施設内立入制限）措置**を取らせていただいております。



《ご家族の方へ》

入院患者さまの荷物のお預かり等をご希望の場合は、1階受付にて承ります。できる限り平日9時～17時となるよう、ご協力の程、お願いいたします。

入院患者さまのご状態につきましては、電話によるお問い合わせで混雑が予想されますので、お変わりがあった場合のみ当院より、お知らせいたします。

患者さま、ご家族及び来所者の皆様にはご不便をおかけして申し訳ございませんが、患者さまへの感染防止のため、ご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

イベント開催予定情報

10月	21日(水)	秋祭り(今井病院2号館ロビー)
-----	--------	-----------------

※開催日時・詳細については、公式ウェブサイトのトップページに於いて、随時お知らせいたします。



次回の新聞発行は、2020年9月の予定です。

編集後記

3月29日夜、コメディアン志村けんさん(享年70)が新型コロナウイルス(COVID-19)肺炎で亡くなりました。日本中に笑いを届けてきた国民的スターが新型コロナウイルスで亡くなり、ショックを受けた人も多いと思います。しかしながら、死者に鞭打つようなことを書くのはとても忍びないのですが、国民の多くがこの報道をきっかけに油断から緊張へ、浅薄な判断から思慮深く考え行動する方向へ覚醒されたように思われます。

情報は、刻々と変化しながら増大している状況にありながら、未だに明確な収束(あるいは終息)の道筋は見えていません。日常生活そのものも、不要不急の外出を控えている状況が深刻化しています。感染拡大を防止する重要な取り組みであることは理解しつつも、終わりが見えてこない状況へのやりきれない気持ちが募ります。

マスクや除菌用アルコールも品薄状態で困りますが、なんとか工夫を凝らして、収束を切に願いながら、奮起して乗り切りましょう。

外来診療時間のご案内

内科	月～金	9:00～11:30
内科 (もの忘れ外来)	金 (要予約)	13:30～16:30
整形外科	火	14:00～16:30
休診日	土・日・祝祭日、年末年始(12/30～1/3)	

健康診断 (要予約)	企業検診・個人検診・半日ドック 特定健康診断
---------------	---------------------------

※都合により変更になる場合もあります。詳細については、下記の連絡先までお問い合わせください。



【電車をご利用の方】

阪急電車「川西能勢口駅」、能勢電鉄「山下駅」「日生中央駅」より無料送迎バスを運行しています。

尚、4/6より、発車予定時刻が一部変更になっています。

詳しくは、<https://www.imai-h.jp/access/> でご確認ください。



月～金 午前9:00～午後5:00まで

☎ お電話での問合せはこちら

➡ 072-766-0030



医療法人晴風園

今井病院

Vol.012
Imai News



いまい新聞



2020年5月 発行 Vol.012

編集発行/医療法人晴風園 今井病院 広報委員会

〒666-0236 兵庫県川辺郡
猪名川町北田原字屏風岳3番地
🌿 <https://www.imai-h.jp/>



<https://www.imai-h.jp/>

看護部 (2病棟) 通信

障害者病棟の患者さんの中には、認知症を患っている患者さんも少なくありません。脳の障害が原因で記憶力や判断力が低下し、日常生活が困難になったり、不安を感じ混乱すると穏やかでは居られなくなります。

私たちは患者さんの不安が軽くなり、穏やかな気持ちで過ごせるように、それをどのように捉え対応していくかをいつも考えて、看護に当たっています。

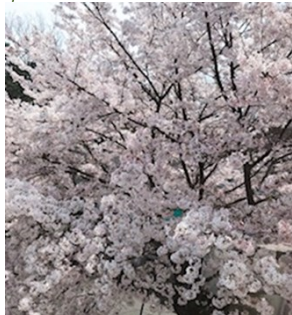
毎日をその人らしく過ごしていただくために好きな手芸や塗り絵などで気分転換を図っていただいています。その作品の一部を紹介いたします。



看護部 (3-2病棟) 通信

3/1より、医療療養病棟から障害者病棟に変わり、看護師が20名増員されました。

介護士も7名居り、協力して患者さんのケアをさせていただいています。アットホームな雰囲気のある病棟です。食堂からは満開の桜の花が見え、病棟に居ながら間近に花見を楽しむことができます。



看護部 (3-3病棟) 通信

当病棟は、回復期リハビリテーション病棟であり、在宅復帰するための病棟です。集中的にリハビリを行い、障害の出来る限りの改善とADLの自立を図るといった役割をもつ病棟です。

看護師はセラピストと情報共有を行い、出来るだけ自立できるように最大限の能力が発揮できるような援助を行っています。

認知症・高齢者の患者さんが多く、なかなかリハビリが進まない時もありますが、日々の状態を把握し体調が良い時は活動量を増やせるようにベッドから離れた生活が送れるよう離床を促しています。

まず、食事や排泄をベッド以外の所で行えるように援助し、患者さん・ご家族が希望する生活が実現出来るよう、退院後の生活をイメージした看護援助が行えるように努力していきたいです。

診療部 (放射線科) 通信

★病院で使用している放射線と被ばくについて

皆さんは放射線と聞くと白血病を初めとした癌、不妊などの影響を想像して恐いと思う人が多いと思います。しかし、放射線の人体への影響は良くわかっており、被ばく線量と影響の発生も明らかになっています。

放射線の被ばく線量を表す単位として、Sv(シーベルト)が使われています。Svは放射線が「人」に当たった時にどれくらいの影響があるかを表します。放射線の人体への影響を考える時に次の2つのことを念頭において下さい。

1つは、被ばくの部位です。頭や腕に放射線を当て遺伝的影響が現れたり、奇形が発生したりする事はありません。もう1つは被ばく線量です。線量が少ない場合には影響はありません。その証拠に皆さんは毎日極微量の放射線を浴びています。これは自然放射線といい、宇宙から飛んでくるものや地面から出てくる放射線の事です。我々が1年間に浴びる自然放射線量は約2.4mSvと言われています。胸部写真1回の被ばく量が約0.1mSvなので、皆さんが健診で胸部写真を約24回撮影するのと同じくらいの線量を1年間に浴びていることになります。でも、線量が少ないので何の影響も出ていません。

よく言われるのが胎児の影響ですが、影響が出るかもしれないという線量は約100mSv以上であると言われていて、100mSvを越えたらすべての赤ちゃんに異常が発生すると言う訳ではありません。

この100mSvという放射線の量は胸部写真を1000回撮影するのと同じくらいの線量です。

また、3千から6千100mSvの線量を浴びないと永久不妊にはなりません。これは胸部写真を5万回以上撮影する線量です。CT検査だと500回以上です。

状態の悪い患者さんを病室で撮影するポータブル撮影がありますが、2m以上離れていれば0.0002mSvとほとんど被曝の無い線量になります。隣のベッドの患者さんがレントゲン撮影していても被曝することはありません。

どうぞ安心して健診など受けて下さい。



事務連絡

★特定健診・がん検診のご案内

特定健診は生活習慣病の予防・解消に焦点をあてた健診です。国民健康保険などの各医療保険に加入されている方を対象に健診を受けることができます。

猪名川町在住で65歳以上の方、及び川西市在住で70歳以上の方は各種がん検診が無料となります。特定健診と併せて年1回受診し、疾病の早期発見にお役立て下さい。



★高齢者用肺炎球菌の予防接種について

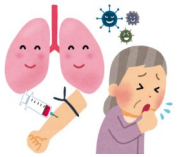
▼対象：

①年度内に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方

②60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能に障がいのある方
(身体障がい者手帳1級または同程度の診断書を持つ方)

▼料金：4,000円

※ これまでに高齢者肺炎球菌の予防接種を受けたことのある方、及び2014(平成26)年～2018(平成30)年度の間に定期接種で受けた方は対象になりません。



★風しん抗体検査及び予防接種について

▼対象：

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

2022年3月31日までの間に限り、39歳～56歳(1962年4月2日～1979年4月1日生まれ)の男性について、風疹の抗体検査とワクチン接種の費用が原則無料になります。

対象者には昨年度に全国の市町村からクーポン券が配布されています。クーポン券を確認できたら医療機関などを予約し、まずは抗体検査を受けてください。予防接種は抗体検査で予防接種の対象となった方のみとなります。

・受付時間：月曜日～金曜日の9時～11時30分

・持ち物：保険証・受診券(特定健診)

ご不明な点がございましたら、
病院医事課(072-766-0030)まで、お問い合わせ下さい。

